

# 馬絹町内会 防災まちづくり計画

令和2年度 策定

川崎市 宮前区 馬絹町内会



令和3年度

# 馬絹町内会 自主防災訓練

—活動手引き—

令和3年 3月 作成



# はじめに

この冊子は、馬絹町内会が「自分たちで」防災訓練を実施するために、必要なことを整理した手引きです。

大きな災害が発生した場合は、消防・警察などの行政機能（公助）がマヒすることが想定されます。そのため、災害発生直後は**地域の力（共助）**がとても大切になります。

いざというときのために、自分たちで繰り返し訓練を実施して、地域の防災力の向上に努めることが必要です。

馬絹町内会では平台・三又・矢中・宮本の4地区が毎年持ち回りで防災訓練を主催し、災害時活動の定着や防災意識の向上を目指します。

訓練後には、振り返りを行い、手引きを見直すなどして次回以降の活動の改善に取り組んでいきます。

# 目次

<b>1. 開催までの全体の流れ</b> .....	<b>1</b>
・ 訓練の骨子（総会説明用） .....	2
<b>2. 訓練の準備</b> .....	<b>3</b>
・ 開催までのチェックリスト .....	3
・ 訓練メニューごとの確認・調整内容 .....	4
・ 必要物品チェックリスト .....	5
・ 訓練シナリオ（タイムスケジュール） .....	8
・ 開催次第 .....	9
・ 周知用チラシ.....	10
<b>3. 当日資料</b> .....	<b>11</b>
・ あいさつ文 .....	12
・ いっとき集合場所レクチャー.....	13
・ ミッションカード（3種） .....	14
・ 備品チェックシート .....	18
・ 各種マップ .....	19
<b>-その他の資料-</b> .....	<b>26</b>
・ 自主防災組織の活動イメージ.....	27
・ 組織メンバー（運営担当者）の選定 .....	28
・ 公園内行為許可申請書類（令和2年度に申請） .....	29
・ 公園図面（馬絹東公園、馬絹公園、馬絹寺台公園） .....	33
・ 他の訓練メニュー.....	36
・ 自主防災組織図.....	39
・ 井戸リスト .....	43
・ 連絡網 .....	44

# 1. 開催するまでの全体の流れ

訓練を実施するまでに、以下の準備を行っていきましょう。

時期	項目	内容
年度初め～	総会で周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の訓練の開催について、概ねの時期や場所をアナウンス</li> <li>・役員会などを通して、訓練に参加する人を募ります。</li> </ul>
3か月前	場所・日時を決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所：「馬絹東公園」</li> <li>・日時：「11/28（日） 午前中」 （※休日午前中で設定）</li> </ul>
	訓練内容を決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いっとき集合場所 活用訓練</li> <li>・災害用井戸 活用訓練</li> <li>・消火ホースキット活用訓練</li> <li>・炊き出し、資器材活用訓練</li> </ul>
2か月前	各種調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用許可申請</li> <li>・炊き出し品等の補充</li> <li>・井戸所有者への事前連絡</li> <li>・消防団への依頼</li> <li>・区役所への補助申請 など</li> </ul>
1か月前	周知・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の次第やシナリオ、周知用のチラシを関係者で確認します</li> <li>・チラシは掲示板や回覧等で地域の住民に周知します。 （ホームページも活用しましょう）</li> </ul>
	備品の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の訓練会場で必要な備品（机、いす、アルコール対策など）や搬入方法を確認します</li> </ul>
1週間前	運営や備品の最終確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方法、役割分担を最終確認します</li> </ul>
当日	訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の搬入や会場設営を行い、訓練を実施します。</li> </ul>

## ・訓練の骨子（総会説明用）

# 2021年 秋開催の防災訓練について

地震や火災などといった災害発生に備え、自主防災組織としての対応力を向上させるため、下記の通り防災訓練を実施する。

## 記

### 1. 訓練概要

次の項目を同時進行で進める総合訓練とする。なお、「震度5強以上の地震」ならびに「地震に伴って発生した火災」を主に想定した訓練とする。

- (1) 「いっとき集合場所（馬絹東公園）」に集合し、参加者は活用方法について学習する。併せて、「避難誘導班」は「誘導訓練」を実施する。
- (2) 消火ホースキットを準備し、最寄りの消火栓にて「消火訓練」を実施する。
- (3) 「災害用井戸」を訪問し、「給水訓練」を実施する。
- (4) 「炊き出し訓練」を実施する。併せて、町内会で保管している主な資器材の展示、発電機を活用した「充電スポット」を開設する。

### 2. 訓練予定

- (1) 午前中の2時間程度を予定し、詳細は別に定める。
- (2) 宮前区の総合防災訓練にあわせて、訓練項目を一部変更する場合がある。

### 3. 活動組織

- (1) 馬絹町内会役員が中心となって活動組織を構成し、併せて地域住民に協力と参加を求める。



## 2. 訓練の準備

### ・開催までのチェックリスト

----- おおむね3か月前 -----

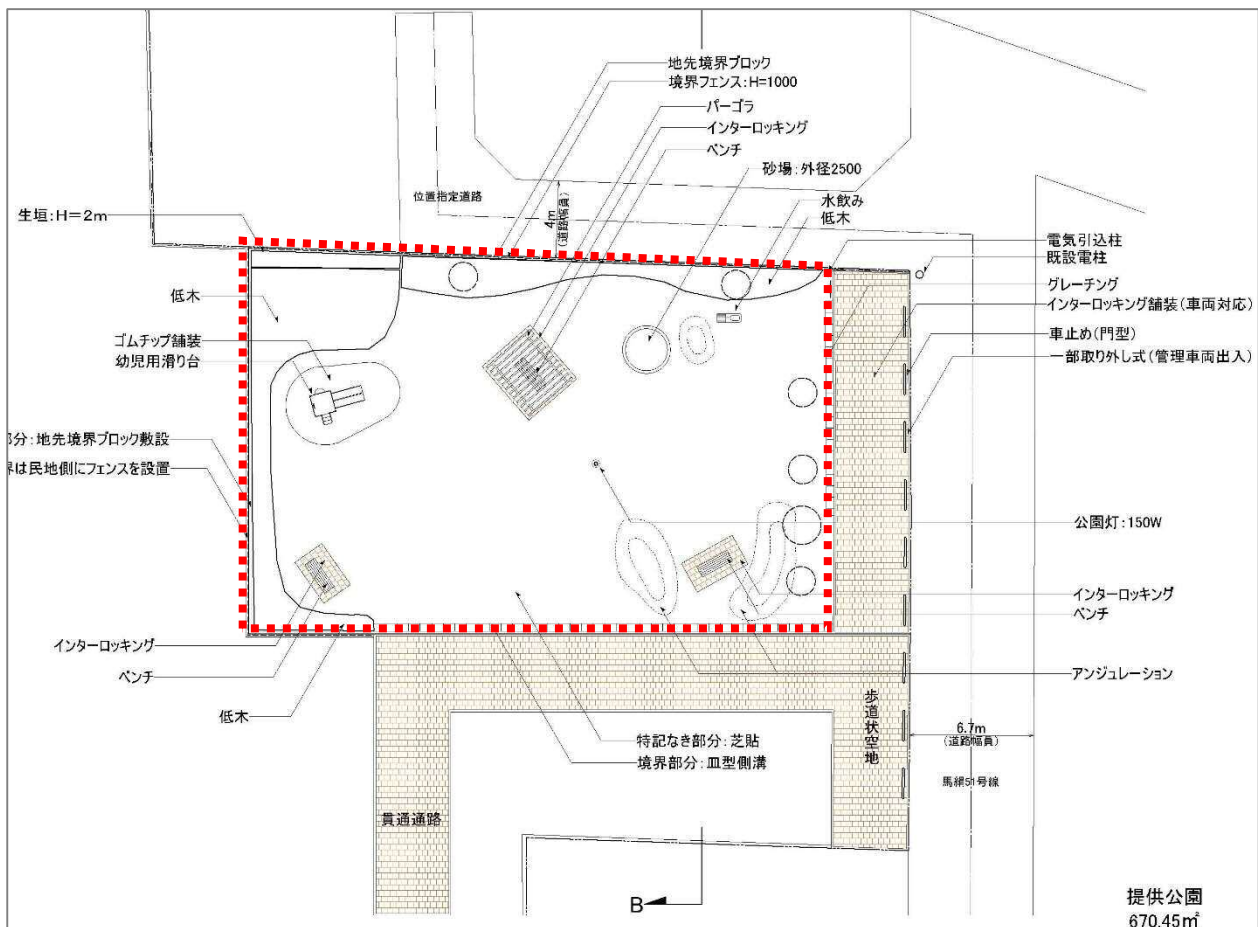
- 開催場所の確定 : 「馬絹東公園」(仮に設定)
- 開催日の確定 : 「11/28日曜日」(仮に設定)
- 訓練メニューの確定 : 「・いっとき集合場所 活用訓練
  - ・災害用井戸 活用訓練
  - ・消火ホースキット活用訓練
  - ・炊き出し、資器材活用訓練
 」(仮に設定)

----- おおむね2か月前 -----

- 訓練メニューごとの準備・調整
- 訓練シナリオの確認と役割分担

----- おおむね1か月前 -----

- 次第や当日資料を、運営関係者へ配布
- 周知用チラシにより、地域住民や関係者へ周知



馬絹東公園 平面図

・訓練メニューごとの確認・調整内容

訓練メニュー	STEP 1 準備	STEP 2 各種調整	STEP 3 実施 (各班ミッションカード 検証)
いっつき集合場所 活用訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションカードの確認</li> <li>・防災マップの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用許可申請 (★P29 参照)</li> <li>・防災マップを使い、自宅~会場までのルート点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のルート点検結果の報告やいっつき集合場所レクチャーなどを行う</li> </ul>
災害用井戸 活用訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションカードの確認</li> <li>・井戸リストに基づき、使用する井戸候補を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸候補の所有者への事前連絡、当日立会い者の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸の利用状況の確認や点検を行う</li> </ul>
消火ホースキット 活用訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションカードの確認</li> <li>・消火栓マップに基づき、使用する消火栓の確認 (★p7 参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団へ協力依頼 (警察協議などもあわせて確認)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火ホースキットの動作確認を行う</li> </ul>
炊き出し、 資器材活用訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品リストに基づき、炊き出しに必要な物を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し用の物品の手配</li> <li>・馬絹第二公園の倉庫点検を行い、発電機と展示する資器材を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(炊き出しと資器材の展示・発電機を使った充電スポットを開設)</li> </ul>

・必要物品チェックリスト

一般備品		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 防災訓練の手引き	〇〇部	運営担当者
<input type="checkbox"/> 参加者名簿	1 枚	
<input type="checkbox"/> 机（炊き出し、充電スポット）	2 台	
<input type="checkbox"/> 椅子	4 脚	
<input type="checkbox"/> 除菌用アルコール	2 個	
<input type="checkbox"/> 予備マスク	30 枚	
<input type="checkbox"/> 検温機	1 個	
<input type="checkbox"/> ごみ袋（50L）	3 枚	
<input type="checkbox"/> カメラ	1 個	

災害用井戸活用訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> pH 試験紙	1 セット	井戸所有者

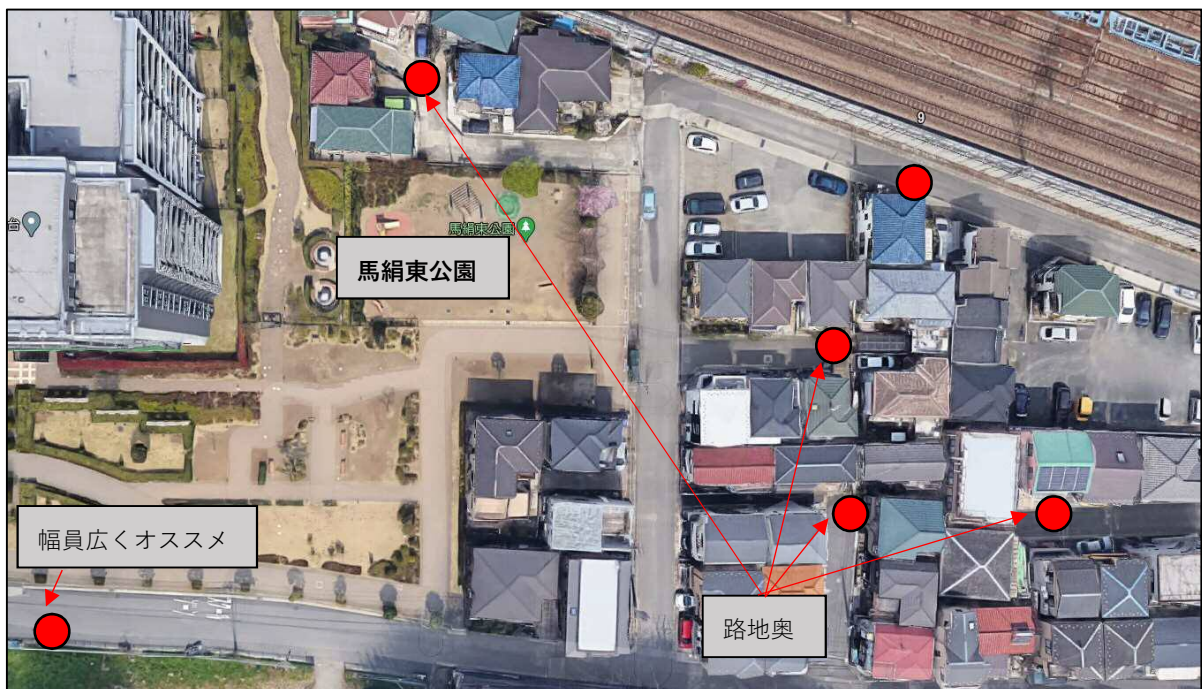
消火ホースキット活用訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 消火ホースキット	1 台	防災倉庫

炊き出し訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> カセットコンロ	2セット	
<input type="checkbox"/> コンロ用ボンベ	6本	
<input type="checkbox"/> やかん	2個	
<input type="checkbox"/> アルファ米	50食分	
<input type="checkbox"/> パックと割箸	50セット	
<input type="checkbox"/> バケツ (消火用)	1セット	

資機材活用訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 発電機	1機	防災倉庫
<input type="checkbox"/> 発電機用ガソリン	6缶	防災倉庫
<input type="checkbox"/> ドラムリール	1個	防災倉庫
<input type="checkbox"/> 延長コード	1本	
<input type="checkbox"/> 各種充電器	各自	参加者
<input type="checkbox"/> 投光器	1器	防災倉庫
<input type="checkbox"/> その他展示用資器材 ( )		防災倉庫

近隣の消火栓位置図を以下に示します。昨年同様、路地の奥であれば安全に実施できると思いますが、民地（戸建て）の前面なので配慮が必要です。

マンション前面の消火栓は道路幅員が広く、交通量も少ないため、おすすめです。



・訓練シナリオ（当日タイムスケジュール）

令和3年11月28日 馬絹町内会自主防災訓練シナリオ		○運営担当
8:45～	会場設営 (必要な備品・資器材の搬入、設営)	・地区部長、 本部役員総務など
9:00～	9時には会場へ集合し、参加者を誘導 (一般参加者は、9時30分までに会場へ集合) 整列と3班にグループ分け	・地区部長、 避難誘導班
9:30～	<b>開会のあいさつ</b> 【① いっとき集合場所活用訓練】 ・いっとき集合場所のレクチャー	・本部長 ・避難誘導班
9:45～	各グループに分かれて、②～④の訓練をローテーションする (各20分×3)	
	<b>【② 消火ホースキット活用訓練】</b> ・最寄りの消火栓へホースキットを運び出し、使い方の確認	・消火班 ・消防団 ・地区部長
	<b>【③ 災害用井戸活用訓練】</b> ・事前に調整した災害用井戸にて、井戸使用状況の確認と 検査の実施	・給水給食班 ・地区部長
	<b>【④ 炊き出し、資器材活用訓練】</b> ・炊き出しの様子を見学 ・資器材の展示・活用体験、発電機を使った充電スポットの 開設を実施	・地区部長 ・本部役員総務
10:45	各グループで振り返り	・地区部長 ・各運営班
11:00	訓練終了、後片付け、炊き出しの持ち帰り	・地区部長、 本部役員総務など

# 馬絹町内会 自主防災訓練

## 開催次第

日 時：11/28（日） 9時30分集合～11時ころ <雨天順延>

会 場：馬絹東公園

運営者：本部役員（自主防災組織の担当班）

参加者：消防団、民生委員、地域包括支援センター、近隣住民等

内容：

1. いっとき集合場所活用訓練
2. 災害用井戸活用訓練
3. 消火ホースキット活用訓練
4. 炊き出し、資器材活用訓練

馬絹東公園 近隣にお住まいの方へ

## 自主防災訓練開催のお知らせ

日頃より、馬絹町内会の活動にご理解頂きありがとうございます。

馬絹町内会では『防災まちづくり』の取組みを進めており、その一環で『自主防災訓練』を以下の通り実施することとなりました。

馬絹東公園近隣にお住いの方におかれましては、どなたでもご参加頂けますので、お気軽にご参加ください。

馬絹町内会 会長 目代鉄男

### ～自主防災訓練実施スケジュール～

日時：2021/11/28（日）（雨天順延） 9時30分～11時頃

場所：馬絹東公園

訓練内容：

#### 1 いつとき集合場所 活用訓練

- ・馬絹東公園の『いつとき集合場所』としての使い方を学習します

#### 2 災害用井戸活用訓練

- ・近くの井戸で使用方法やルールを学習します

#### 3 消火ホースキット訓練

- ・最寄りの消火栓で使い方を確認します

#### 4 炊き出し、資器材活用訓練 ★発電機を使った「充電キット」も設けます

- ・備蓄品の炊き出しと、災害時に役立つ資器材の展示を行います



### - 3. 当日資料-

あいさつ文	会長
いっとき集合場所レクチャー	避難誘導班
ミッションカード（3種）	各活動班
備品チェックシート	総務班
各種マップ	避難誘導班、消火班、 給水給食班

## あいさつ文（例）

### 【開催挨拶】

- ・地震や津波、台風、洪水、大雪などの天災は、いつやってくるのか分かりません。いつやっても対応できるよう準備しておくことが大切です。
- ・日頃から、災害時にまず命を守るための「心の準備」と、災害でライフラインが停止した時のための「物資の準備」の2つをお願いします。
- ・馬絹町内会では、防災の取組として、いっとき集合場所の指定や災害用井戸を増やす取組を進めています。本日はそれらの活用の他、消火ホースキットの活用なども含めた防災訓練を実施します。

### 【閉会挨拶】

- ・本日は防災訓練にご協力いただきありがとうございました。無事に訓練を終えることができました。
- ・今日の訓練・経験を基に、万一の災害に活かすことが大事になりますので、我々も含めた関係者と、ご協力いただいた方々には、これからも馬絹全体の防災のためにご尽力いただきますようお願いいたします。
- ・最後に、ご協力いただいた消防団、民生委員、地域包括ケアセンター、区役所、近隣の皆様にお礼を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

## いっとき集合場所レクチャー

- ・馬絹町内会では、地震や火災時に地域の方が安全に避難できるよう、身近な公園や駐車場を「いっとき集合場所」として指定する取組を進めています。
- ・馬絹は、急な坂道や細い路地が多く、道が塞がったりして避難に時間がかかったり、周りの状況が分からず避難を迷う心配があります。
- ・そんなときに、この「いっとき集合場所」へ集まることで、住民同士の互いの安否確認や救助を行ったり、災害の情報を交換することができます。
- ・馬絹町内会では、いっとき集合場所であることを示す看板を設置し、地域の方に知っていただくことで、多くの方が無事に避難できるようにしています。
- ・ただ、あくまで「いっとき」の場所ですので、災害の状況に応じて自宅に戻ったり、指定避難場所へ行くなどして、より安全な場所への避難を常に心掛けてください。
- ・この「馬絹東公園」の他にも、「馬絹第二公園」と「馬絹公園」をいっとき集合場所として定めておりまして、詳しくは馬絹町内会 HP をご覧ください。
- ・本部役員の「避難誘導班」の方については、地震発生後にまず、いっとき集合場所へ向かい、周辺の安全確認を行ってください。
- ・その後、地域の被害状況や要救助者がいないかどうかを、周辺の見回りや集まった近隣の方々と情報交換して確認し、その後の救助活動やより安全な避難場所への避難に備えます。
- ・詳しい内容はお手元のミッションカードを見て、活動をイメージしていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。
- ・以上で、いっとき集合場所のレクチャーになります。

# 災害時ミッションカード

あなたは「避難誘導班」です

「いつとき集合場所」へ行き、避難誘導・安全確認を行います

## 1. 宮前区で「震度5強」以上が発生

- ・まずは自分や家族の安全を確保
- ・防災マップを持参し、いつとき集合場所へ ⇒場所【】
- ・向かう途中で、危険箇所（※）を確認  
※倒壊しそうなCB塀・電柱、上から落下しそうなもの

## 2. いつとき集合場所の安全確認

- ・火災は発生していないか、倒木・倒壊はないか
- ・火災発生の場合⇒消火活動・119番通報・本部へ連絡
- ・安全が確認できた場合⇒「3. 避難誘導活動」へ

## 3. 避難誘導活動(2名以上)

- ・1名は周辺の見回り ⇒担当者【】
  - ・周辺の被災確認(道路閉塞、家屋・CB塀等の倒壊)
  - ・火災発生の有無 有⇒消火活動・119番通報・本部へ連絡
  - ・倒壊家屋の要救助者確認
- ・1名はいつとき集合場所で待機⇒担当者【】
  - ・防災倉庫の開錠(ある場合)
  - ・避難者の安否確認
  - ・被害情報の整理
- ・助けが要る場合、避難者や近隣に手伝いを呼び掛ける

## 4. 発災後1時間を目途に、本部へ状況報告

- ・いつとき集合場所の避難人数、周辺の被害状況について、  
地区部長へ報告  
⇒【 地区部長 名前  TEL 】
- ・周辺が落ち着いたら活動終了

# 災害時ミッションカード

あなたは「消火班」です

消火ホースキットを運び出し、火元へ行き、初期消火します

## 1. 馬絹町内で火災発生 or 震度5強以上が発生

- ・消火栓マップ、倉庫のカギを持参
- ・消火ホースキットの設置場所へ向かう ⇒設置場所【\_\_\_\_\_】
- ・119番通報・**本部へ火災発生被害の連絡**

## 2. 消火ホースキットの運び出し

- ・火災発生地に向かう途中で、周囲へ声掛け  
「消火活動を行います。手伝える方は一緒に来てください」

## 3. 到着、消火活動

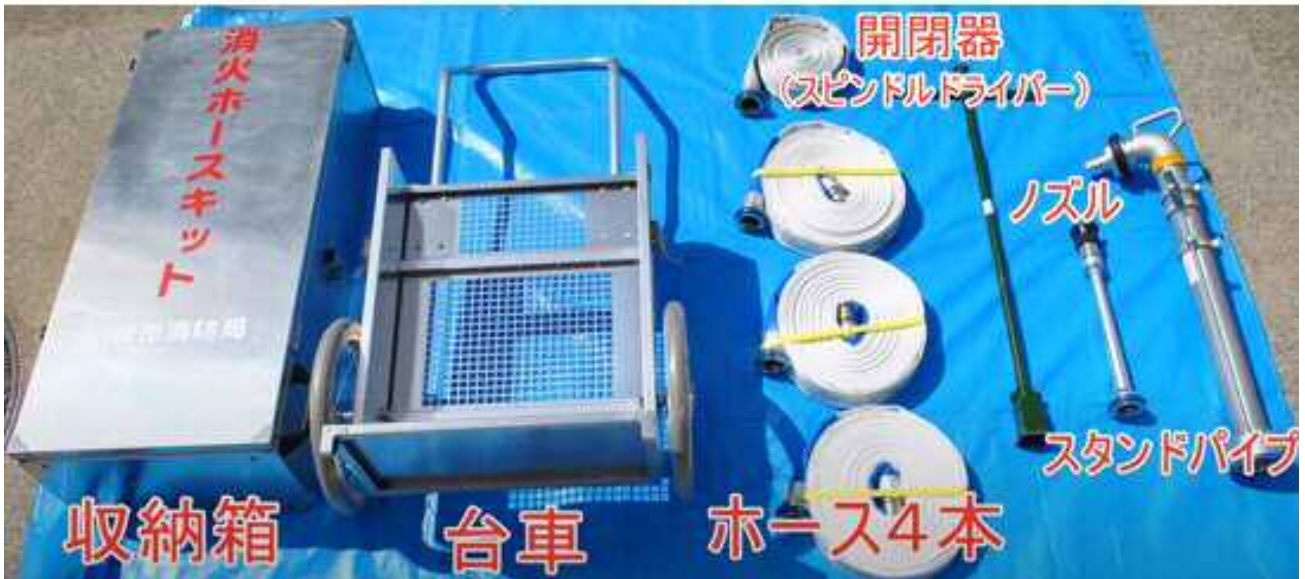
★火災の規模を確認⇒危険と感ずる場合は、消火活動を行わない

- ① 最寄りの消火栓を見つける(80m以内)
  - ② 最低2名でABの役割分担をする(3名いればCも実施)
    - A:ホース係⇒・火元までホースを持って行き、放水の準備  
・バルブ係の合図を待つ
    - B:バルブ係⇒・消火栓の蓋をあけ、キットを接続する  
・ホース係へ『開放します』と合図を送る
    - C:仲介係 ⇒・消火栓と火元の距離が遠い場合、ホースの絡みを  
・直したり、合図の伝達を行う
  - ③ バルブ係の合図をきっかけに放水を開始する
- 放水は残り火が無くなるまで、続ける。
  - ホース係が危険と感ずる火災に拡大した場合は、速やかに活動を終了。消火栓を閉じ、引き上げる。

## 4. 活動終了後、本部へ結果報告

- ・活動結果について、地区部長へ報告  
⇒【 \_\_\_\_\_ 地区部長 名前 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ 】

# 消火ホースキット接続マニュアル



① 開閉器で蓋を開ける



② 開閉器でバルブを少し開ける



③ スタンドパイプを接続



⑥ 放水開始



⑤ バルブを開放⇒合図



④ パイプとホースを接続



取扱方法の動画：

<https://youtu.be/KQNwZOvMizc>



# 災害時ミッションカード

あなたは「給水給食班」です  
災害用井戸の所有者を訪問し、給水支援をします

## 1. 地震発生の翌日以降に、馬絹地域で断水が発生

・担当する災害用井戸の所有者へ連絡・訪問

⇒【 宅 TEL \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ 】

⇒【 宅 TEL \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ 】

⇒【 宅 TEL \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_ 】

・訪問にあたり、井戸ルールの看板・点検工具などを持参

## 2. 井戸の使用可否を確認

・所有者の安否を確認

・井戸の状況を確認

①水は出るか ②水の色に濁りや変色はないか ③異臭はないか

④pHは平時と比べて大きく変化はないか

・①～④で異常がない⇒井戸ルール看板を設置する

・異常がある⇒区衛生課へ相談し判断を仰ぐ【TEL044-856-3270】

## 3. 井戸水の供給開始

・所有者に連絡先を伝える。⇒次のお宅へ、「2. 3.」を実施

## 4. 確認終了後、本部へ結果報告

・担当井戸の使用可否の結果について、地区部長へ報告

⇒【 地区部長 名前 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ 】

## 5. 結果報告後、定期的に井戸の所有者宅へ見回り

・行列や混乱はないか⇒ある場合、交通整理やルール説明を行う

・班で対応が難しい場合、本部へ応援要請

# 馬絹町内会防災資器材（馬絹第2公園） チェックリスト

チェック日：2020.11.28 次回棚卸し予定日：

## 主な確認項目

<p><b>【食料について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費期限は十分に残っているか</li> <li>・カビが生えていたり、異臭がしないか</li> <li>・数は十分にあるか</li> </ul>	<p><b>【生活用品について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包装の破れはないか</li> <li>・カビや汚れは発生していないか</li> <li>・正常に動作するか</li> </ul>	<p><b>【資器材について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常に動作・通電するか</li> <li>・破損や錆の進行はないか</li> <li>・電池・ポンペ・ガソリンなどは中身の劣化、漏れも確認</li> </ul>
---	---	--

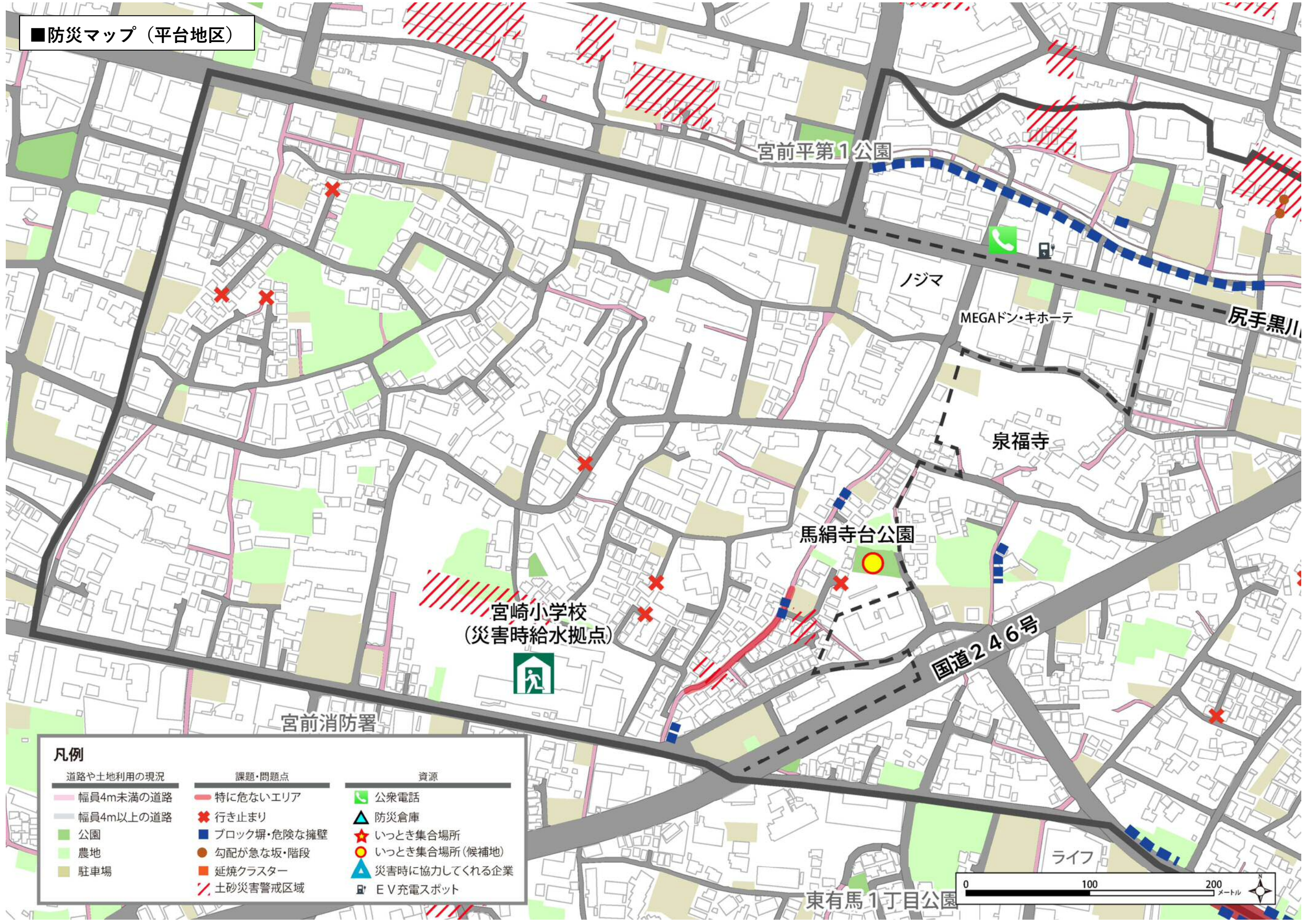
No.	品目	数量	購入日	点検メモ	使用可否 (○・×)
1	飲料水	15ケース	R2.11	消費期限：	○
2	アルファ米	4ケース	R2.11	消費期限：	○
3	シルバーシート	3	H28.9		○
4	ブルーシート	1	H28.9		○
5	三角巾	2ケース			○
6	毛布	なし			×
7	ヘルメット	—		役員・地区長がそれぞれ保管	—
8	リヤカー	1	H28.9		○
9	拡声器	—		各地区に配備済み	—
10	一輪車	1	H28.9		○
11	ハンマー（大）	3	H28.9		○
12	スコップ	3	H28.9		○
13	ジャッキ	3	H28.9		○
14	パール	3	H28.9		○
15	カッター	3	H28.9		○
16	ツルハシ	3	H28.9		○
17	のこぎり	3	H28.9		○
18	ロープ	6	H28.9		○
19	スモーク液	2			○
20	脚立	3	H28.9		○
21	鉋斧	3	H28.9		○
22	消火ホースキット	1	R2.3		○
23	発電機	1	H31.1		○
24	コードドラム	1	H31.1		○
25	ハンドマイク (肩掛けタイプ)	2	H31.1		○
26	ガソリン缶		R2.11	使用期限	○

<p>■非常食入替時に併せて導入を検討                  ・延長コード、携帯充電器 ・毛布                  ・投光器</p>	<p>～MEMO～</p>
---	---------------

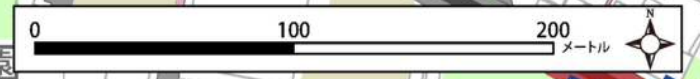


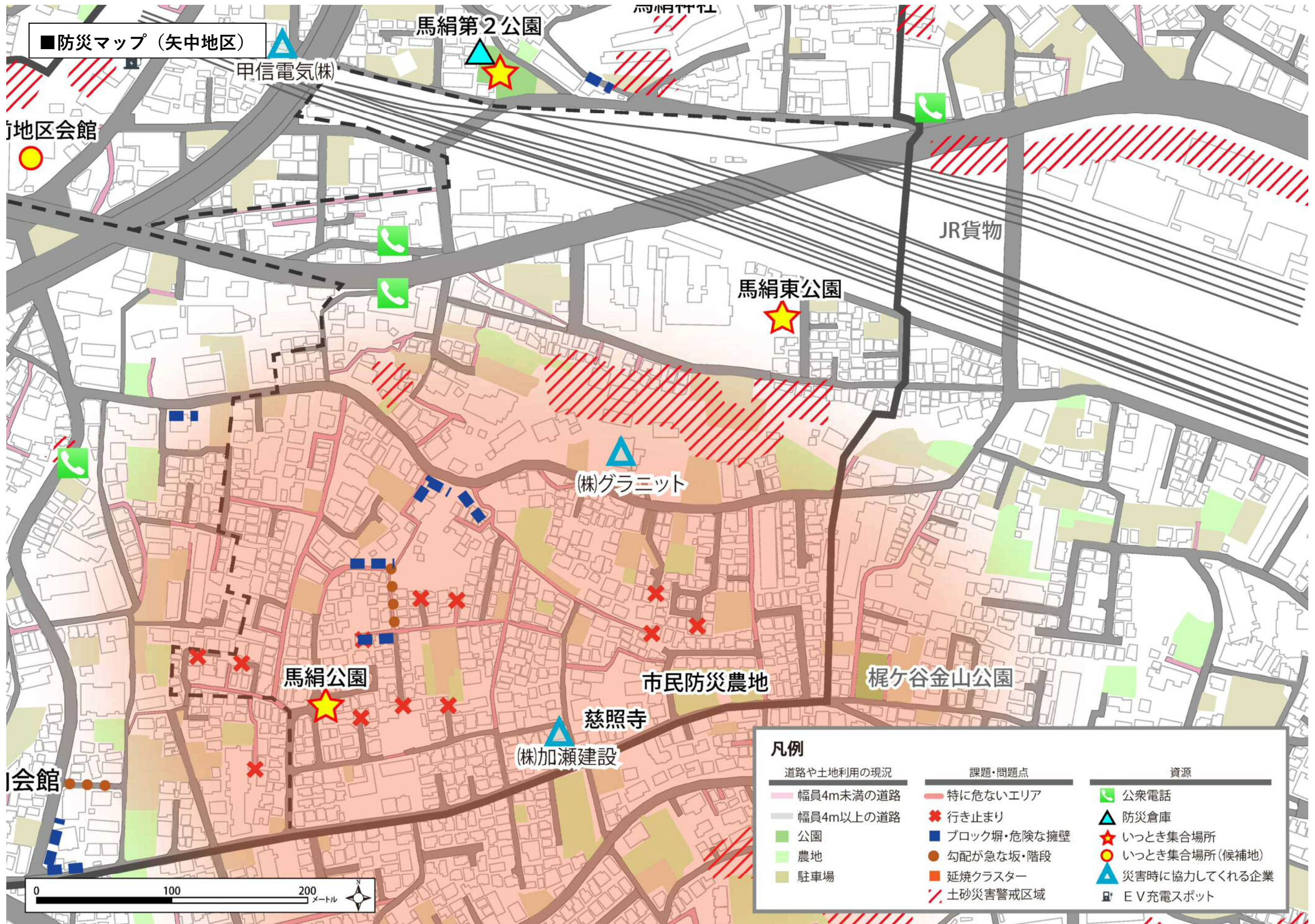


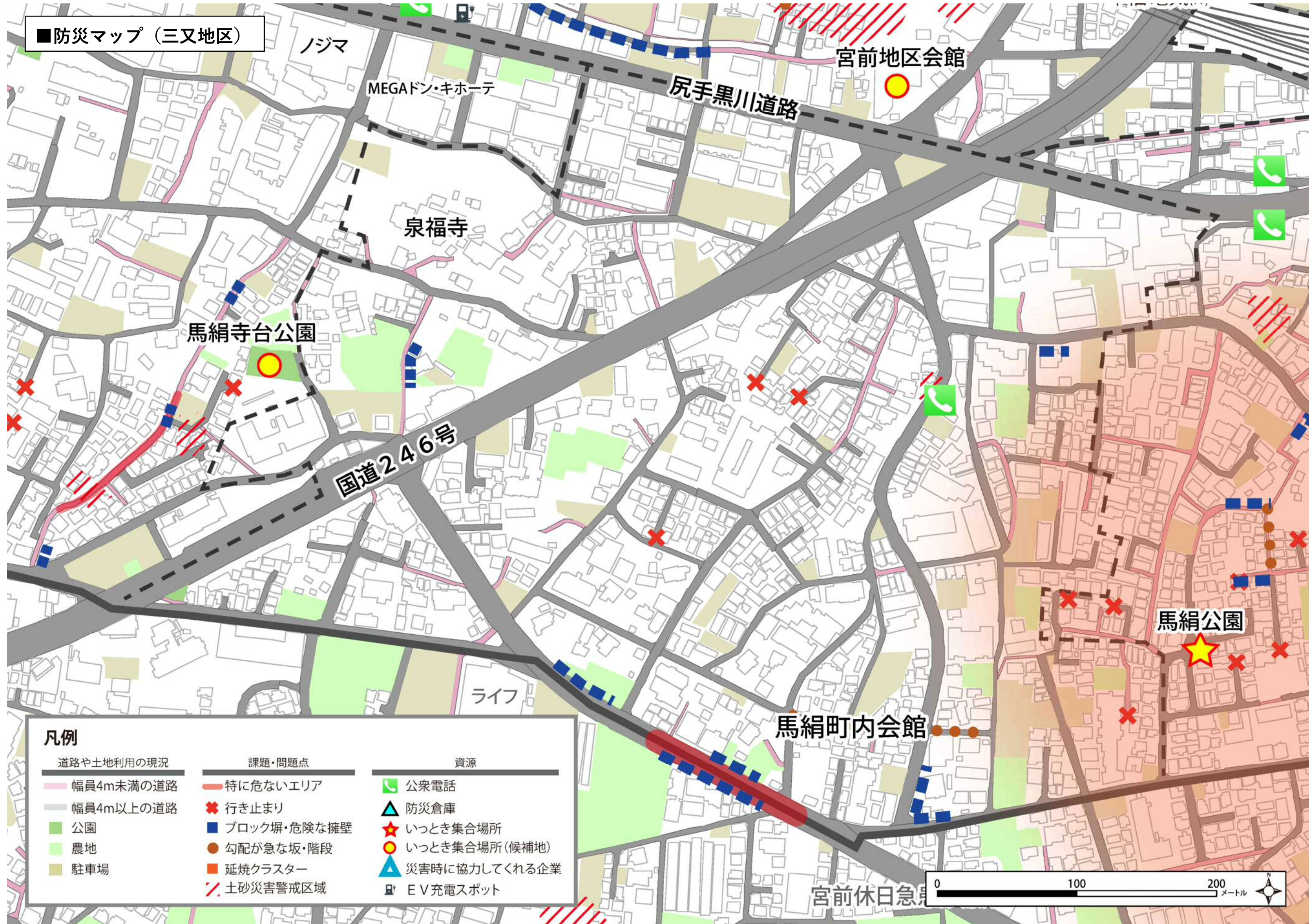
■防災マップ（平台地区）



道路や土地利用の現況	課題・問題点	資源
幅員4m未満の道路	特に危ないエリア	公共電話
幅員4m以上の道路	行き止まり	防災倉庫
公園	ブロック塀・危険な擁壁	いっとき集会所
農地	勾配が急な坂・階段	いっとき集会所(候補地)
駐車場	延焼クラスター	災害時に協力してくれる企業
	土砂災害警戒区域	E V充電スポット

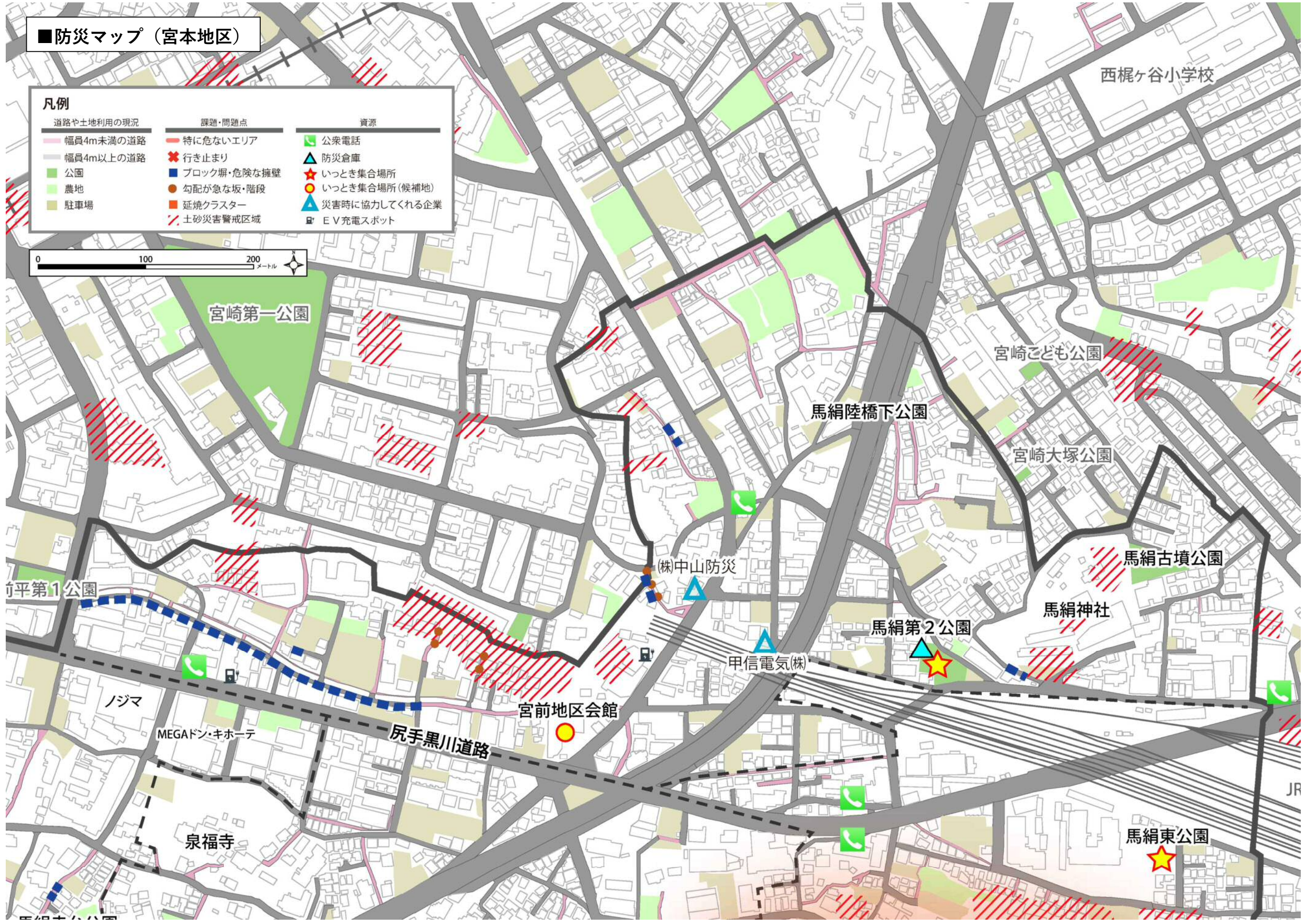
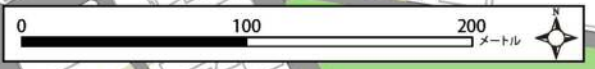






# ■防災マップ（宮本地区）

道路や土地利用の現況	課題・問題点	資源
幅員4m未満の道路	特に危ないエリア	公衆電話
幅員4m以上の道路	行き止まり	防災倉庫
公園	ブロック塀・危険な擁壁	いっとき集会所
農地	勾配が急な坂・階段	いっとき集会所(候補地)
駐車場	延焼クラスター	災害時に協力してくれる企業
	土砂災害警戒区域	E V 充電スポット





■災害用井戸マップ

番号	丁目	住所
①	1丁目	
②		
③		
④	2丁目	
⑤		
⑥		
⑦	3丁目	
⑧		
⑨		
⑩	4丁目	
⑪		
⑫		
⑬	5丁目	



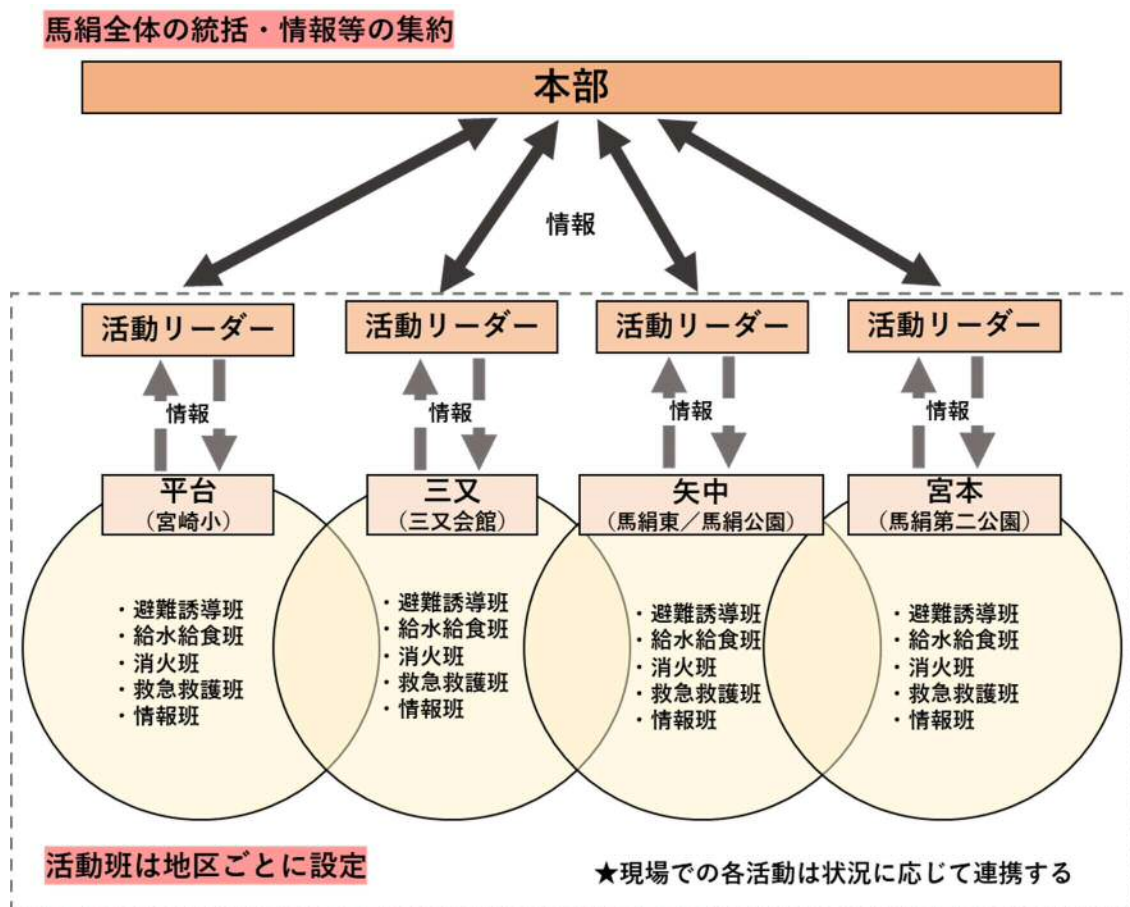
## その他の資料

自主防災組織の活動イメージ
組織メンバー（運営担当者）の選定について
公園内行為許可申請書類（令和2年度に申請）
公園図面（馬絹東公園、馬絹公園、馬絹寺台公園）
他の訓練メニュー
自主防災組織図
井戸リスト
連絡網



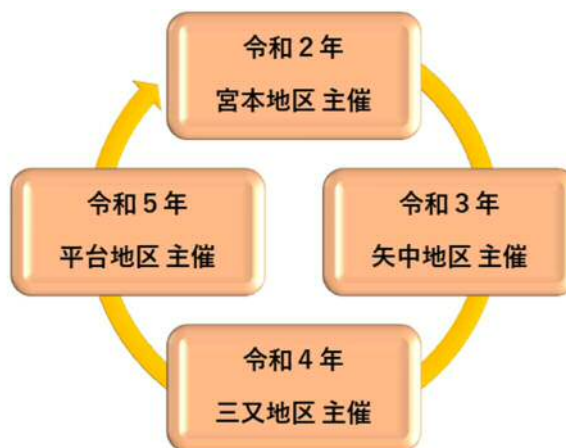
## 自主防災組織の活動イメージ

- ・【本部】 全体の統括、情報や物資などの集約拠点
  - ・【活動リーダー】 地区内の活動状況の把握、地区間の連携や本部との情報、のやりとり
  - ・【活動班】 各活動班は地区ごとに定め、災害時の各種活動にあたる
- ⇒状況に応じて、地区間で連携するなど柔軟に活動しましょう



上記の組織体制で実際に活動できるように、自主防災訓練を実施し、各活動班の活動イメージの共有と検証を行います。

各地区が持ち回りで主催することで防災力の向上、定着を図ります。令和3年度は「矢中地区」が担当します。

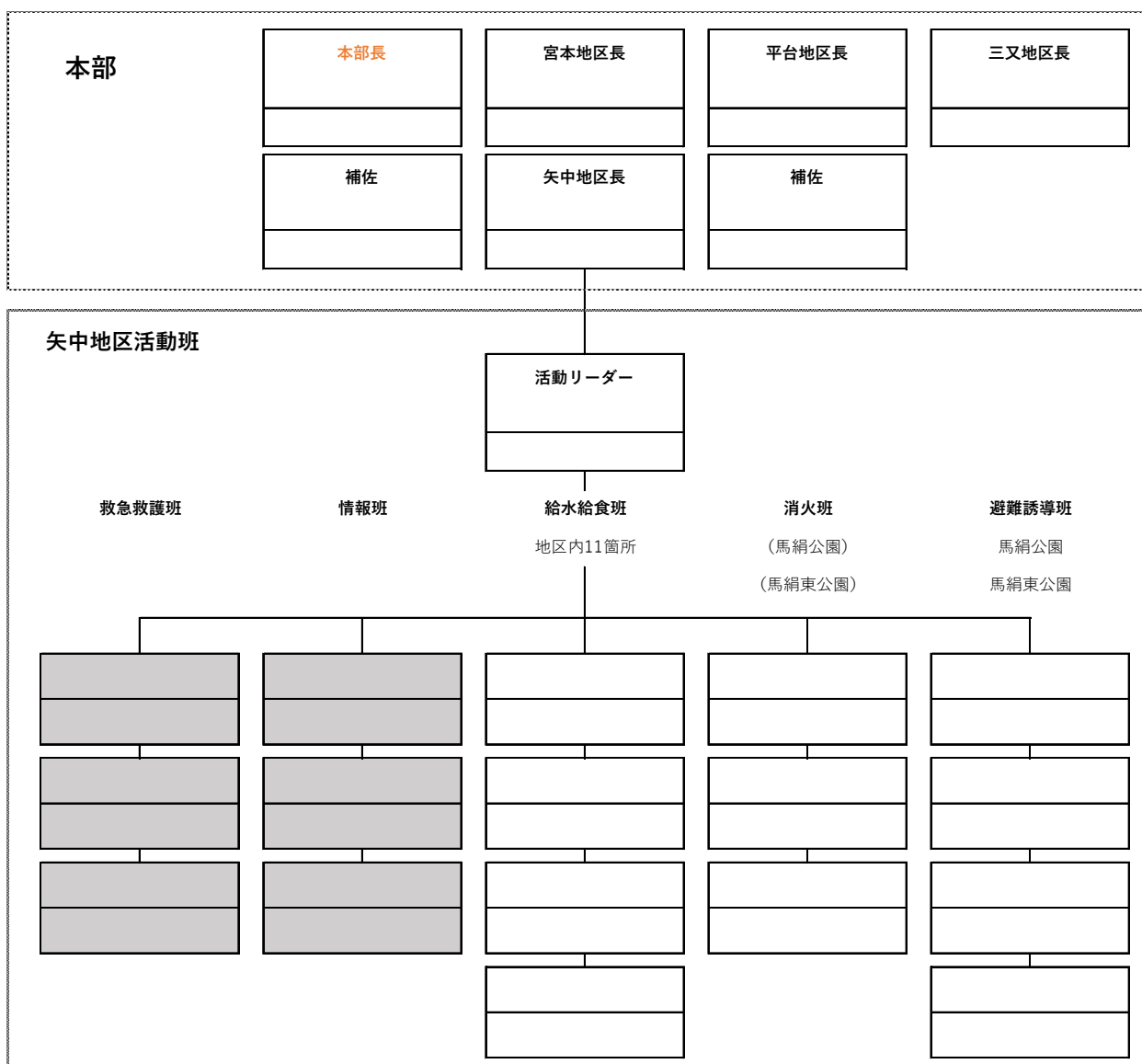


## 組織メンバー（運営担当者）の選定について

日頃の付き合いや、役員会を通して、地区の活動班（自主防災組織）に参加してくれる人を募ります。

「各活動班」は災害時に活動していただくだけでなく、訓練の際の「運営」にも参加していただきます。訓練実施のために必ず必要になりますので、各班に1名以上は任命しておくことが望ましいでしょう。

### 馬絹町内会自主防災組織（矢中地区）



担任								
----	--	--	--	--	--	--	--	--

## 公園内行為許可申請書

令和 年 月 日

(宛先) 川崎市長

住所 .....

氏名 ..... 印

電話 .....

次のとおり申請します。

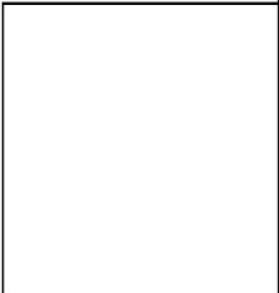
1 公園名	馬絹第二公園
2 日時	(別紙日程表による)
3 目的	馬絹町内会の自主防災訓練のため
4 参加人員	30名
5 責任者	馬絹町内会自主防災組織
6 使用面積	平方メートル
7 使用料	

- ※  \_\_\_\_\_ のため許可しません。  
 申請どおり許可します。  
 次の条件で許可します。

ア  使用料(  減額  免除 ) 円

イ  別紙許可条件のとおり

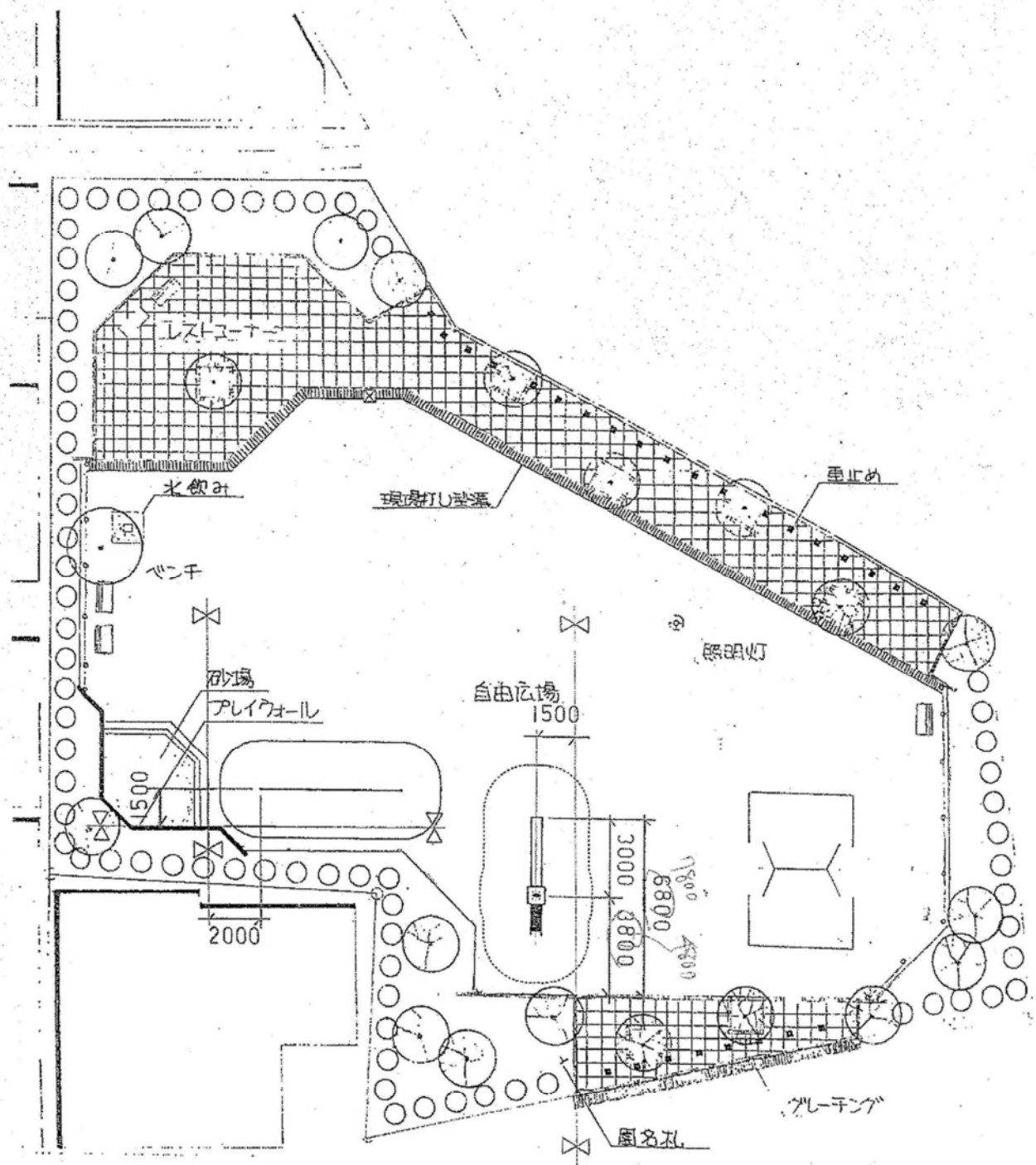
ウ \_\_\_\_\_



※印欄は記入しないでください。

## 日程表

令和2年11月28日 AM 8時30分～12時00分
令和2年11月29日 AM 8時30分～12時00分 (※予備日)



馬絹第2公園

担任								
----	--	--	--	--	--	--	--	--

## 公園使用料占用料（減額・免除）申請書

令和 年 月 日

(宛先) 川崎市長

住所

氏名 印

次の理由により申請します。

公園名及び施設名	馬絹第二公園
----------	--------

理由	馬絹町内会の自主防災訓練のため。（別紙参照）

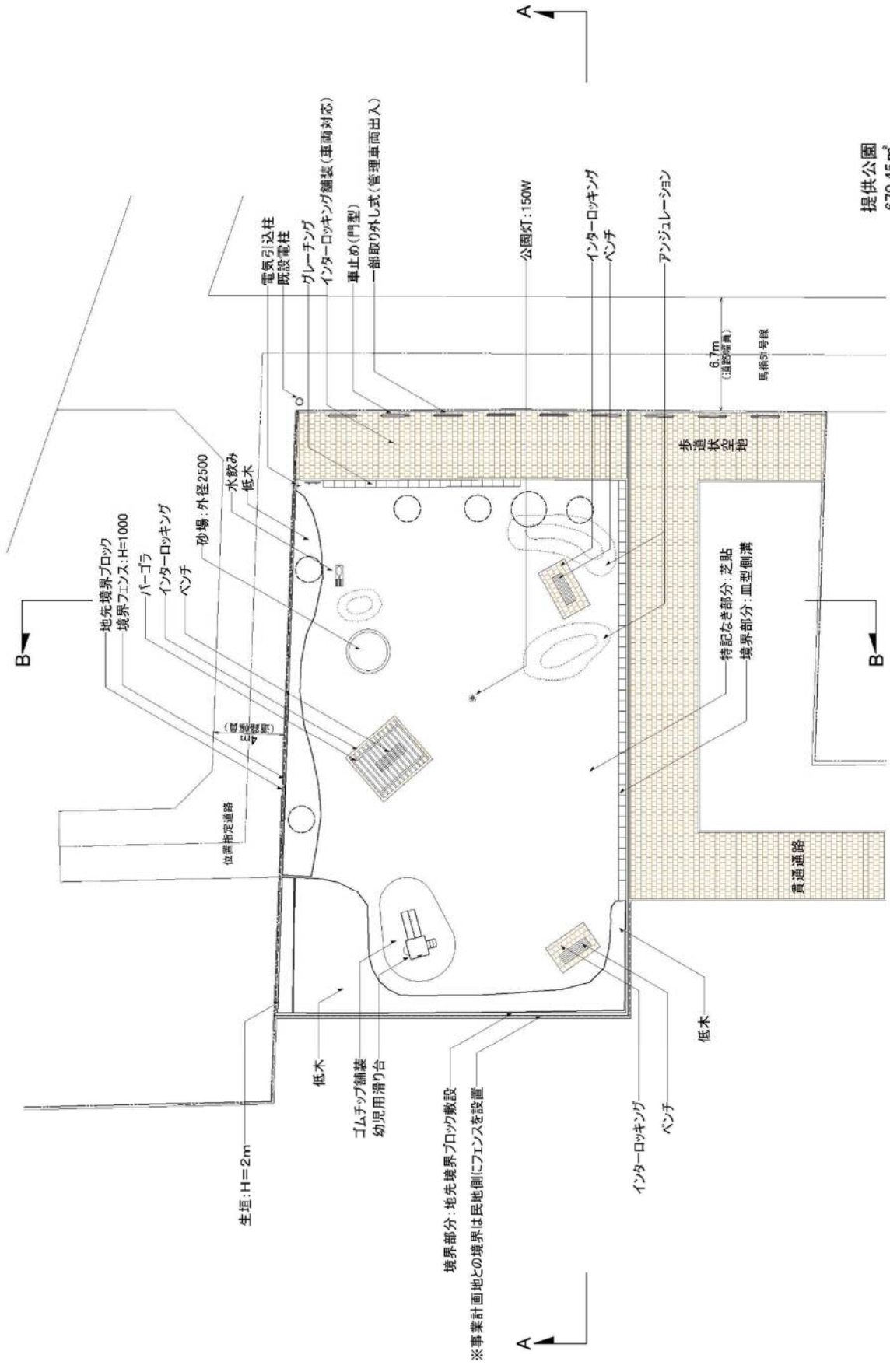
※ 調 査

川崎市都市公園条例第21条及び同施行規則第16条の規定の適用の有無

- 適用する       減 額     免 除  
 適用しない

※調査	年 月 日	※納付すべき額	円
※調査員氏名	印	※(減額・免除)する額	円
※決裁日	年 月 日	※決定金額	円

※印欄は記入しないでください。

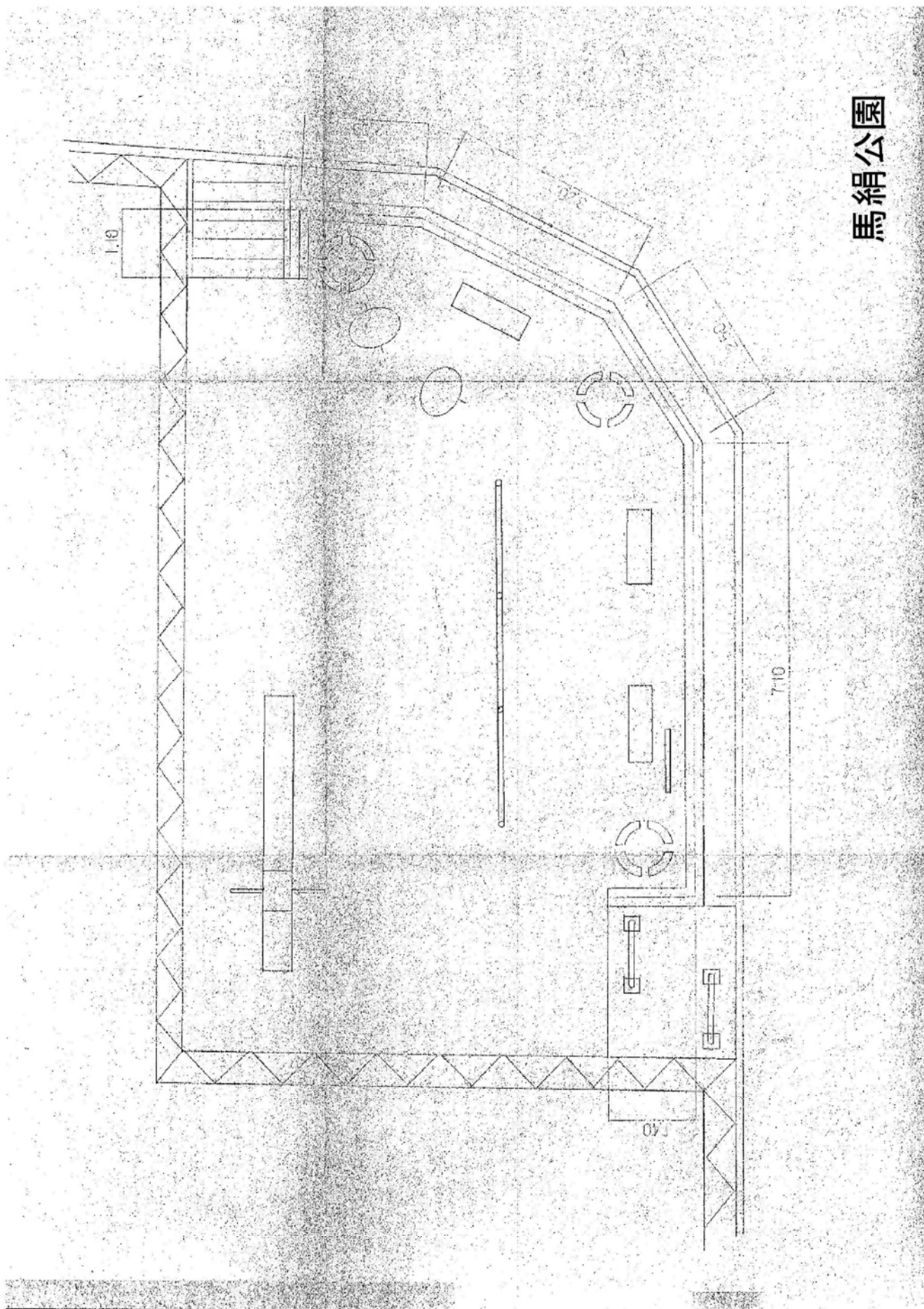


境界部分：地先境界ブロック敷設  
 ※事業計画地との境界は民地側にフェンスを設置

提供公園  
 670.45㎡

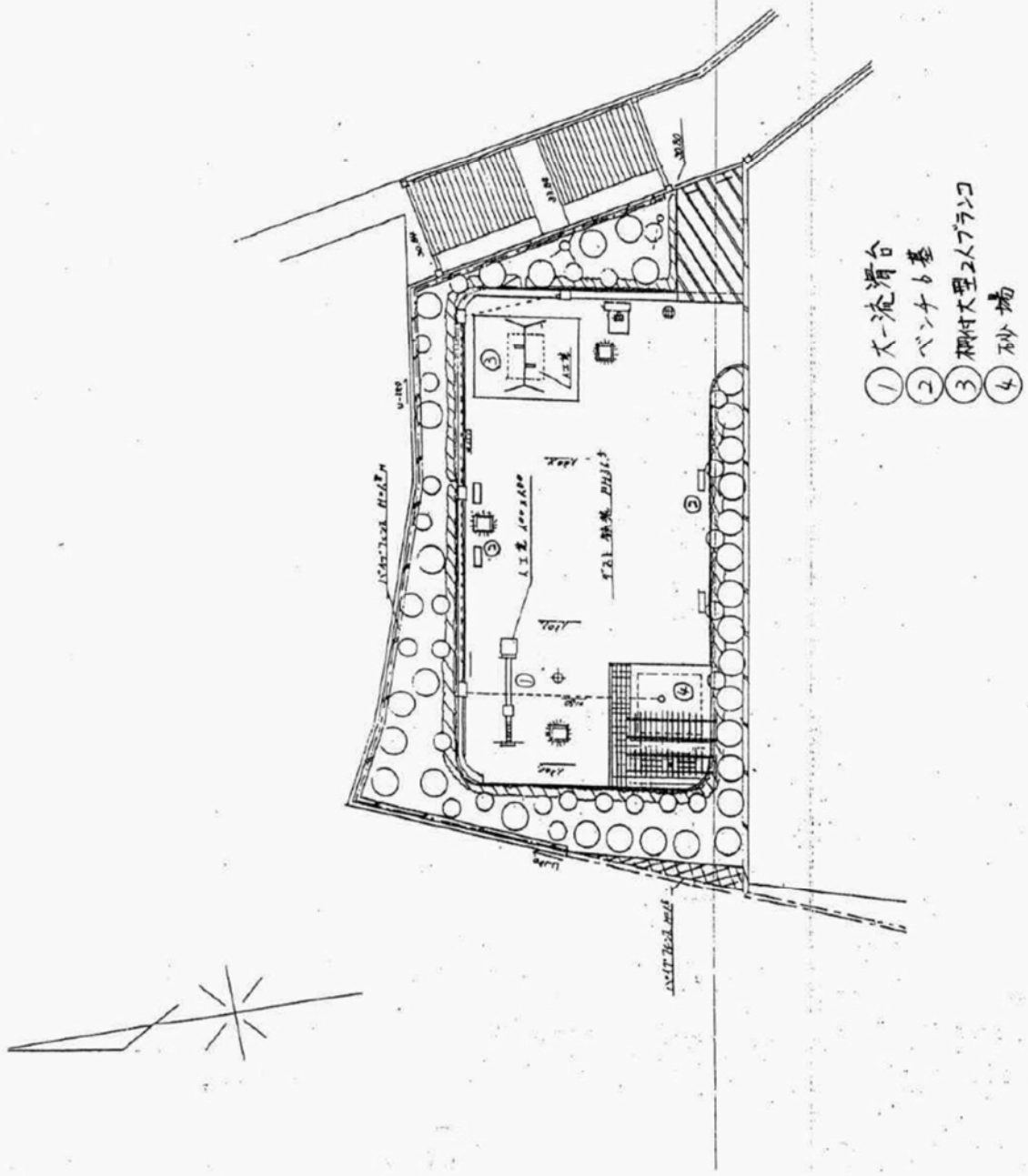
馬絹東公園 平面図

馬絹公園





馬絹寺台公園



## 連絡訓練

### STEP 1 準備

- ・連絡網を確認します
- ・どのような想定で訓練を実施するか決定します  
(※LINEグループがある場合、主要メンバー同士でのすみやかな情報の共有を図ることができるため、活用したほうが良い)

例1) 訓練です。大型の台風が接近しています。避難準備レベルとなりましたので宮崎小学校へ避難してください。

例2) 訓練です。大きな地震が観測されました。速やかに〇〇（防災訓練開催場所）へ避難してください

### STEP 2 各種調整

- ・三役会などの際に、「電話連絡網訓練」を実施する旨を伝えます

### STEP 3 実施

- ・例1)のように大雨を想定する場合は、防災訓練とは別日に、単独で連絡訓練を実施することができます。初めの人から最後の人まで連絡が1周する時間を計測し、何度も繰り返しながら時間短縮を目指しましょう。
- ・例2)では、防災訓練実施日の朝に、連絡訓練を実施し、連絡を受けた人から順に開催場所へ向かう、といった方法も考えられます

# 災害時ミッションカード

あなたは「防災本部」です

防災本部を立ち上げ、情報収集し、各班を指揮します

## 1. 宮前区で「震度5強」以上が発生

- ・まずは自分や家族の安全を確保

## 2. 本部関係者(本部長,各地区部長,総務部)の参集

- ・本部関係者は本部【三ツ又会館】へ自動参集  
※「宮崎小学校」が避難所開設した段階で、本部は宮崎小学校へ移す
- ・(電話がつながる場合)本部長は本部関係者に、参集の電話連絡

## 3. 活動の開始

- ・本部関係者が本部へ2名以上集まった時点で、活動開始

## 4. 情報の収集(情報整理シートを使う)

- ・避難誘導班:いつとき集合場所での活動を指示  
避難者やけが人の有無、  
各地区の被害状況の報告をもらう
- ・消火班 :火災発生 of 連絡をもらう  
消火活動を指示する  
活動結果の報告をもらう
- ・給水給食班:(断水の発生を確認した場合)活動を指示する  
井戸所有者の安否・井戸使用可否の報告をもらう  
(応援要請を受けた場合)他の班員へ派遣要請

## 5. 活動終了の判断

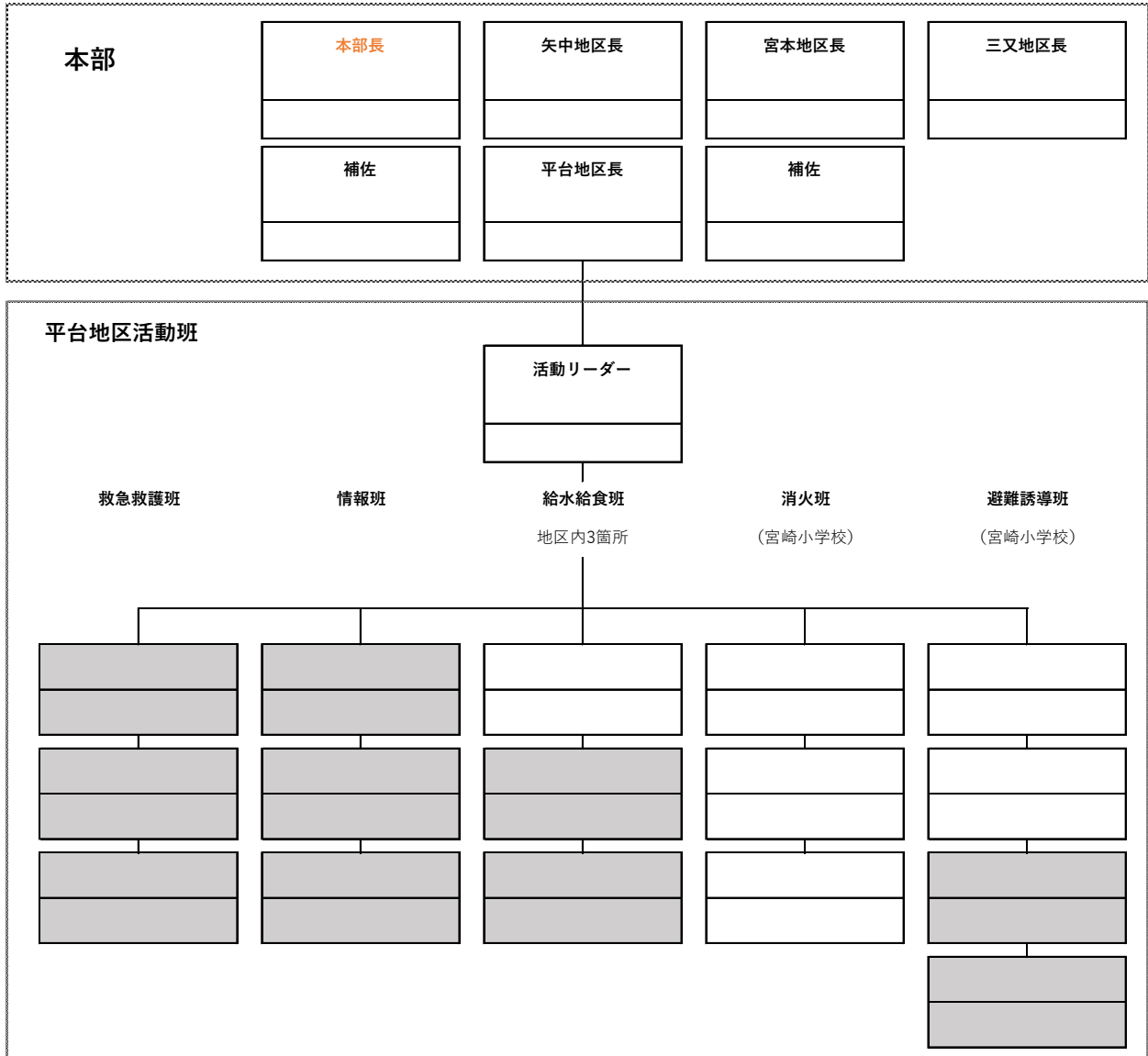
- ・喫緊の危険が去り、復旧期になった頃、組織活動終了の判断をする
- ・総務部長は活動内容を記録しておく他、防災活動費の会計を行う

## 本部用 情報整理シート

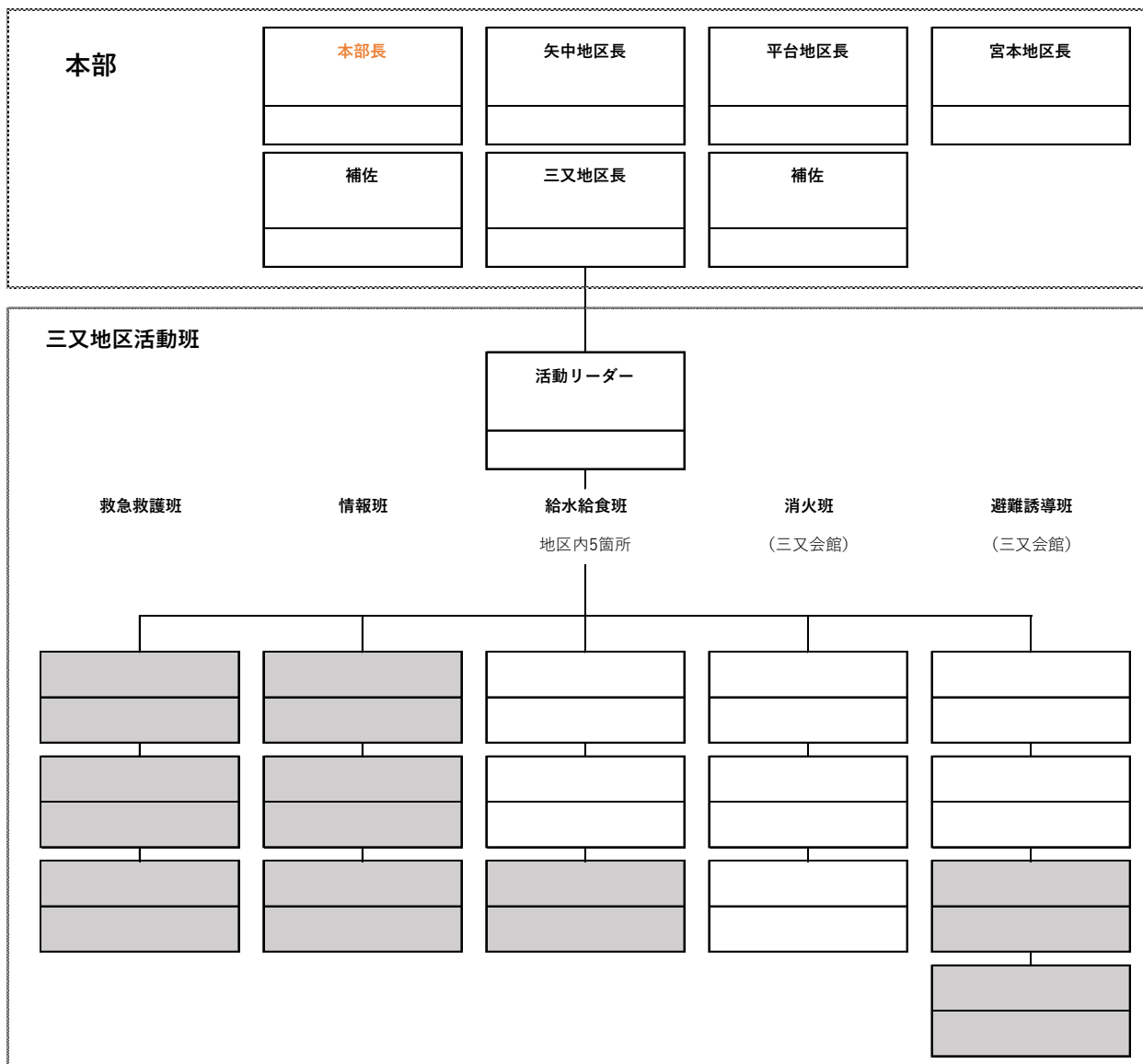
< 各活動班の把握と公的機関への通報等を想定し、各活動班などからの情報を整理する >

	発災直後から使用する項目		発災後、周辺の状況が落ち着いてきた頃に使用する項目
	<b>【避難誘導班】</b> 避難した人数は？ けが人の有無は？ 周辺の被害状況は？	<b>【消火班】</b> 火災の発生場所は？ 消火栓の位置は？ 消火できたか？	<b>【給水給食班】</b> 所有者の安否は？ 利用の可否は？
	< 訓練用 > 例) ・ 矢中地区から 20 名避難 (参加) ・ うち、けが人はなし ・ 周辺を点検したところ、火災が 1 件発生している模様、●●付近。 ・ その他、家屋の倒壊や道路閉塞はなし。	< 訓練用 > 例) ・ ●●付近で住宅 1 軒が火災 ・ マンション前面の消火栓を使用 ・ 初期消火完了、延焼はないものと思われる、消防に引き継いだ	< 訓練用 > 例) ・ ○○の井戸を訪問した。所有者ならびに設備は無事 ・ pH 検査も問題なし ・ 所有者の利用許可もいただいた。
矢中地区			
三又地区			
平台地区		今回使用しない	
宮本地区			

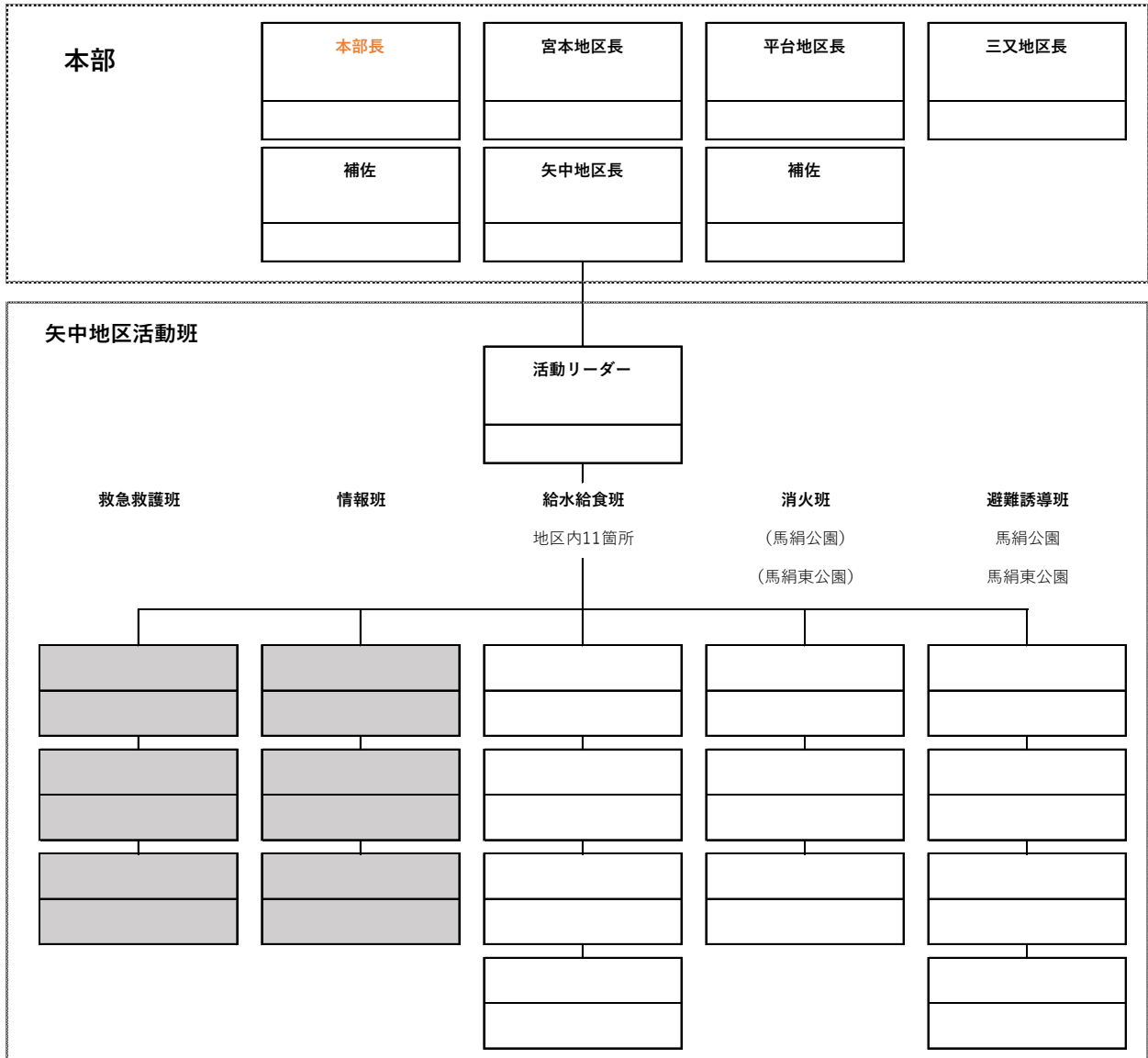
## 馬絹町内会自主防災組織（平台地区）



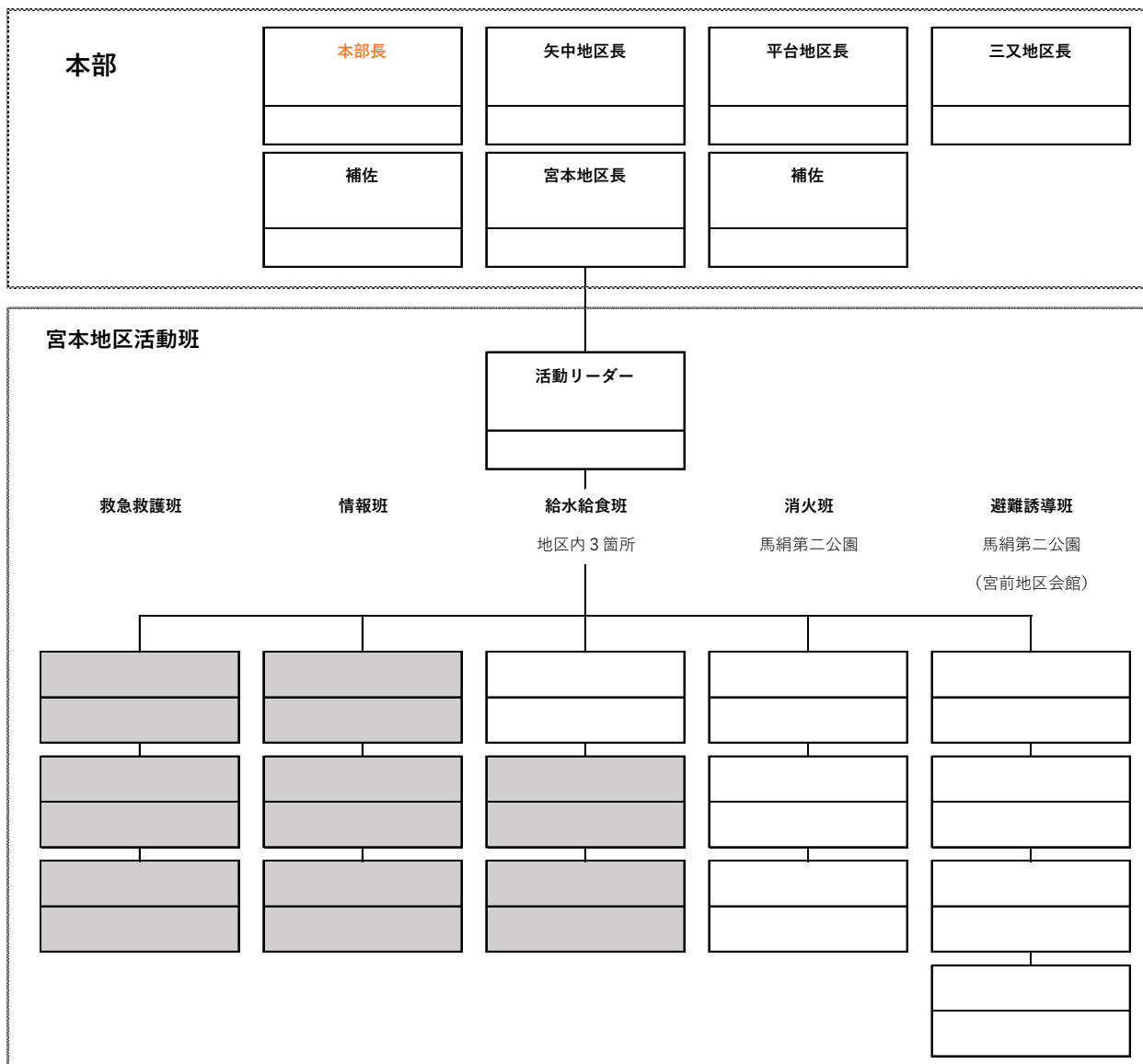
## 馬絹町内会自主防災組織（三又地区）



## 馬絹町内会自主防災組織（矢中地区）



## 馬絹町内会自主防災組織（宮本地区）





## 災害用井戸 調査一覧表

基本情報							井戸活用推進中				
番号	丁目	住所	氏名	場所	汲上げ方法	備考	訪問日	利用中	災害時の利用可否	選定済	訓練時の活用可否
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										

# 馬絹町内会 本部役員 電話連絡網

平成31年4月27日 改訂

会議の連絡方法

本部役員会は必要に応じて電話又はFAX連絡する  
理事以上役員会は「お知らせ」にて通知する

